ゴミは粗末に扱えません

一億七千万円の埋立地

昨年八月から一億七千万円を投入し小平方地内に工事を進めてきた一般廃棄物最終処分場が完成しました。

一般廃棄物最終処分場とは、家庭から出る燃えないゴミで再利用できないビニールやプラスチック瀬戸物などを埋める所です。

本町は昭和三十七年から北場三枚潟（北場自治会所有）に埋め立てていましたが、昨年二月で飽和状態になってしまいました。

そこで、新しい埋立地が必要となり、町では昨年度事業として工事をしていたわけです。この埋立地が出来るまで昨年一年間は、巻町ほか三か町村で構成する埋立地へ黒埼町もお願いして処理してもらっていました。

十一年間大丈夫のはず

四月からゴミを入れ始めた埋立地は、昭和七十年まであと十一年は使える予定です。

予定ではいますが、あと十年になるか八年になるかはわかりません。ゴミは年々増え続けています。種類も多種になってきています。

そこで、大切なのはキチンと分別してゴミを集積所へ出すことです。燃やせるゴミが燃やされないゴミと一緒に埋立られるとそれだけ早く埋まってしまいます。

事実、燃えるゴミや空き瓶が出来たばかりの処分場に混ざっていました。

ある清掃業者は「このままだともって七、八年てところ」と言っています。

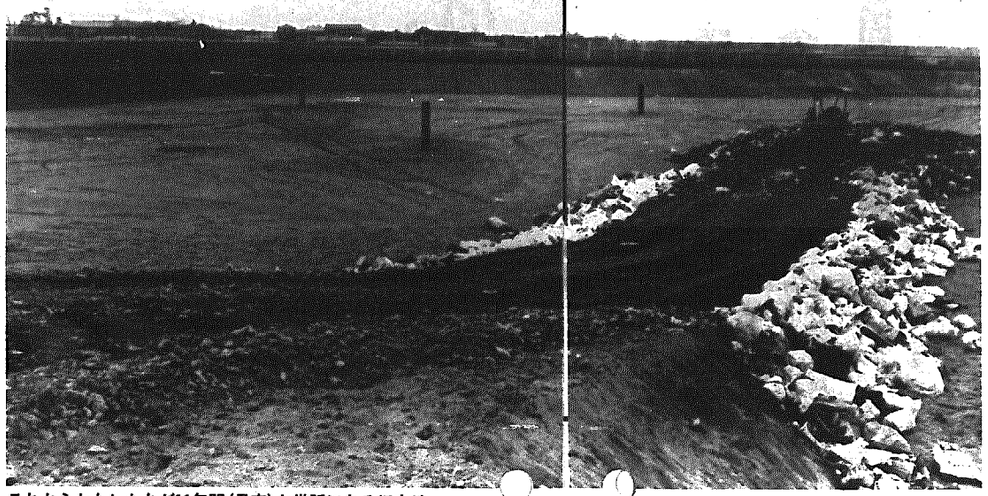
ゴミは税金の大敵です

この最終処分場は土地買収費が二億五千二百万円、工事費で一億七千四百万円というばく大なお金がかかっています。

将来は二号埋立地、三号埋立地を造っていく予定ですが、造る時期が遅ければそれだけ負担が軽くなります。

本町のゴミは左表のとおり、種類によって、四か所で処分しています。これにかかる経費は右に書いてあるとおり年間一億六千五百万円、一世帯当たり三万円もかかっています。

この経費はすべてわたしたちの税金で賄っているわけです。ゴミの分別収集にご協力ください。


これからわたしたちが11年間（予定）お世話になる埋立地

ゴミにかかるお金（年間）

1億222万3千円※1
（広域清掃事務組合負担金）

4718万6千円※1
（ゴミ収集業者委託料）

＋ 1582万3千円※2
（一般廃棄物最終処分場事業費）

1億6523万2千円

－ 69万6千円※3
（空き缶、金属、空き瓶環元金）

1億6453万6千円

1世帯当たりでは
2万9800円（一年）

1人当たりでは
7660円（一年）

参考 1世帯年間水道使用料
5万4600円（一年）

わたしたちは水道料の半分以上のお金（54%）をゴミに使っているわけです。

※1.59年度予算
※2.処分場は11年間使用できる予定なので、総事業費1億7,405万円を11（年）で割った。だから、11年より早く埋まってしまえばそれだけ高くなるわけである。なお、用地買収費（2億5千万円）は含まれていない。
※3.59年度の予想額。

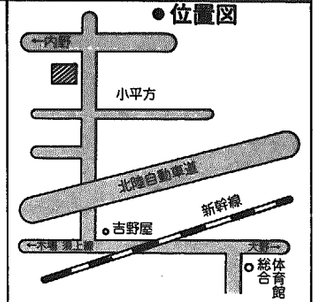
黒埼町一般廃棄物最終処分場施設の概要

所在地：黒埼町小平方新通り548－1
管理連絡先：黒埼町役場保健衛生課
供用開始：昭和59年4月1日
終了予定：昭和70年3月31日
処分場総面積：28,417㎡
埋立面積：5,905㎡
埋立容量：18,023㎥
浸出水処理施設：処理水量30㎥／日
埋立方式：準好気性埋立

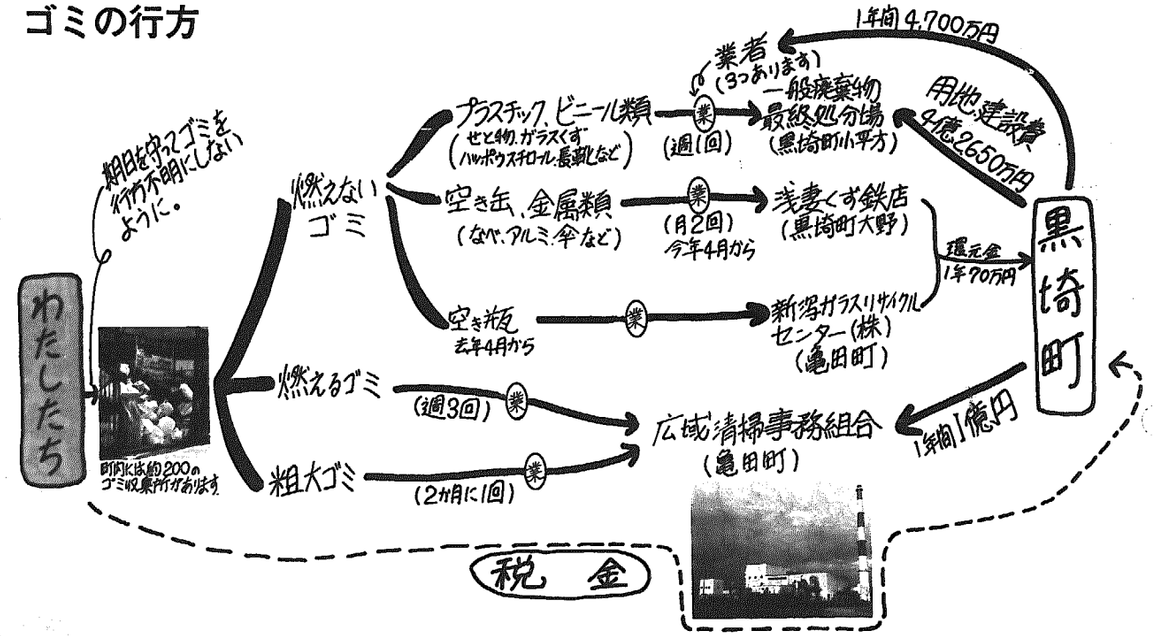
土地買収費：2億5,243万9,558円
（28,106㎡、昭和56年5月契約）
総事業費：1億7,405万円
- 埋立処理施設：1億2,570万円
- 浸出水処理施設：3,580万円
- その他：1,255万円

財源内訳
- 国庫補助金：6,754万2千円
- 起債：7,750万円
- 一般財源：2,900万8千円

工事業者
- 土木工事：加賀田・笠井共同企業体
- 浸水処理施設：富士電気総設㈱
- 水道工事：鈴木配管㈲



ゴミの行方



空き瓶が混じって出ていました。困りますね

工事費の約半分は国民年金の還元融資を受けました

わたしも一言

期日と分別を守って

鳥原大明
河野笙子
（主婦）

ええ。ゴミは必ず分けて指定の日に出しています。近所のかたもそうしているようです。ただ、通勤の途中にゴミを無断で置いとく人がいるんですよね。こういうことはとっても困ります。

ゴミ収集日程表の訂正

先に配布しましたゴミ収集日程表に誤りがありましたので訂正いたします。

①月・水・金の地域　粗大ゴミ収集日　8月14日を8月7日に　10月23日を10月16日に　燃えるゴミ収集日1月3日休み
②火・木・土の地域　燃えるゴミ　1月2日は休み